

## 第24回電波功績賞表彰式が開催されました

6月19日、第3回定時総会に引き続き、第24回電波功績賞表彰式が開催され、総務省 柴山総務副大臣からご祝辞を頂戴し、総務大臣表彰の受賞者の方々に表彰状が授与されました。また、当会の間塚会長から一般社団法人電波産業会会長表彰の表彰状が贈呈されました。

表彰状受領後、受賞者を代表して株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ 代表取締役社長 加藤 薫様よりご挨拶がありました。



表彰式における  
間塚会長の挨拶



表彰式における  
柴山総務副大臣の  
ご祝辞



表彰式における  
羽鳥選考委員長の  
ご挨拶



受賞者を代表して  
加藤様のご挨拶



第24回電波功績賞表彰式終了後の全員による記念撮影

後列左側から

廣田様、中野様、佐々木様、掛札様、廣瀬様、涌井様、中舎様、阿部様、安藤様(中村様の代理)、家村様

前列左側から

吉良基盤局長、加藤様、間塚会長、柴山総務副大臣、羽鳥委員長、池田様、武井電波部長

## 1 総務大臣表彰

- (1) 「広域災害発生時における重要エリアの確保に向けた大ゾーン基地局の実用化」

株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ

代表 加藤 薫 殿 (株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ 代表取締役社長)

移動通信分野において、大規模災害発生時においても重要エリアのサービスを迅速に復旧することを可能とする災害に強い大ゾーン基地局を実用化するとともに短期間で全国に配備し、電波を有効に利用した非常災害時の通信確保に大きく貢献した。

- (2) 「700MHz 帯放送システム等の周波数移行への貢献」

日本放送協会 放送技術研究所 700MHz 帯周波数移行に向けた研究開発グループ

代表 池田 哲臣 殿 (日本放送協会 放送技術研究所 伝送システム研究部 部長)

放送分野において、映像素材伝送装置 (FPU) 及びラジオマイクの周波数移行のために、電波減衰を補償するための時空間符号化方式や低遅延特性を有するデジタル伝送方式を開発するなど 700MHz 帯放送システム等の周波数移行のための基盤技術を確立し、電波の有効利用に大きく貢献した。

## 2 一般社団法人電波産業会会長表彰

- (1) 「CDMA2000 1x EV-DO Advanced の実用化」

KDDI 株式会社 EV-DO Advanced 開発チーム

代表 廣田 徳孝 殿 (KDDI 株式会社 ネットワーク技術本部 システムインテグレーション部 無線アクセスネットワーク検証グループ グループリーダー)

移動通信分野において、各基地局セクタの負荷状況をリアルタイムで測定し、負荷の低いセクタの有効利用により、高いスループットが得られる CDMA2000 1x EV-DO Advanced を実用化し、携帯電話システムのエリア全体のデータ通信速度の向上を実現するなど、電波の有効利用に大きく貢献した。

- (2) 「LTE 基地局用シェイプドビームアンテナの実用化」

中野 雅之 殿 (株式会社 KDDI 研究所)

佐々木 哲東 殿 (KDDI 株式会社)

掛札 祐範 殿 (日本電業工作株式会社)

移動通信分野において、LTE システムでのセクタ間における同一周波数の干渉を低減する基地局用シェイプドビームアンテナを従来アンテナと同等サイズで実用化し、携帯電話システムのスループットの向上を実現するなど、電波の有効利用に大きく貢献した。

(3) 「被災現場での迅速な通信確保を可能にした小型衛星通信地球局の開発」

日本電信電話株式会社 小型衛星通信地球局開発グループ

代表 廣瀬 貴史 殿 (日本電信電話株式会社 アクセスサービスシステム研究所  
第三推進プロジェクト 主幹研究員)

衛星通信分野において、東日本大震災での経験を活かし、運用性能等に優れた小型衛星通信地球局を開発し、電波を有効に利用した広域災害現場での迅速な通信手段の実現に大きく貢献した。

(4) 「80GHz 帯高速無線伝送システムの開発・実用化」

富士通株式会社

代表 涌井 寿和 殿 (富士通株式会社 ネットワークプロダクト事業本部  
グローバルビジネス事業部 シニアディレクター)

株式会社富士通研究所

代表 中舎 安宏 殿 (株式会社富士通研究所 基盤技術研究所 機能デバイス研究部  
主任研究員)

富士通ワイヤレスシステムズ株式会社

代表 阿部 聡 殿 (富士通ワイヤレスシステムズ株式会社 技術開発センター  
第一技術部 部長)

無線通信分野において、80GHz 帯ミリ波インパルス通信方式により、光ケーブル通信の補完・代替が可能な 3Gbps を伝送する小型無線送受信装置を開発し、電波を有効に利用した高速無線伝送システムの実用化に大きく貢献した。

(5) 「LTE-Advanced の実用化に向けた 1Gbps 高速データ伝送システムの研究開発」

株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ LTE-Advanced 開発グループ

代表 中村 武宏 殿 (株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ 無線アクセス開発部  
無線アクセス方式担当部長)

移動通信分野において、ITU-R 勧告及び 3GPP 規格に準拠した 1Gbps 高速データ伝送システムの実証実験装置を研究開発し、実環境で下り 1Gbps のスループットを実証するなど、電波を有効に利用した LTE-Advanced の実用化に向け大きく貢献した。

(6) 「2048QAM 変調方式 無線伝送技術の実用化」

日本電気株式会社 PASOLINK 開発グループ

代表 家村 隆也 殿 (日本電気株式会社 モバイルワイヤレスソリューション事業部  
マネージャ)

無線伝送分野において、2048QAM 変調方式の超多値変調と適応変調方式による無線伝送技術を実用化し、電波を有効に利用した安定・高品質な大容量マイクロ波通信の実現に大きく貢献した。